

クロスのお手入れ



日常のお手入れ

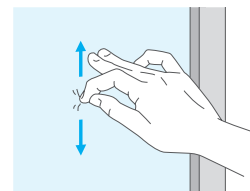
壁や天井は、日常のお手入れなどのしやすさから、ビニールクロスが多く用いられています。給気口の周りなど汚れが気になる場合は、市販されている家庭用洗剤を適量の水で薄め、タオルなどを使い、汚れを拭き取るようにお掃除してください。

汚れがひどい場合

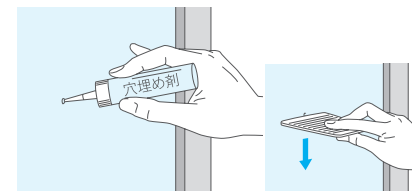
汚れがひどい場合は、タオルを2つ準備し、一つは洗剤水を少し多めに含ませ壁面を拭き、10秒くらい後に水で絞ったタオルで、溶け出した汚れを拭き上げていただくと、より効果があります。なお、汚れがひどい場合は、ムラが生じたりまだらに跡が残ることがありますので、目立たない場所で試されることをおすすめします。

ねじやクギの穴を目立たなくする

ねじやクギ、画鋲やピンを抜いた跡はクロス用の穴埋め剤を使うと目立たなくなります。これはアクリル系の充填剤で、ホワイイト・オフホワイイト・ベージュ・アイボリー・ライトグレーなど、さまざまな色があります。



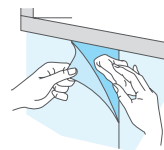
1 穴を埋める前に、ホコリや石膏ボードの粉などはきれいに払い、ねじを抜いた穴など、周囲が盛り上がっている場合は指や爪で押して平らにします。



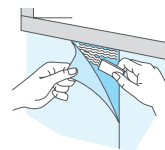
2 次に壁紙にあった色の穴埋め剤を選び、ノズルの先を直接壁に当て、容器を軽く押しながら穴に埋め込みます。出しすぎた場合は付属のヘラでかき取り、平らに仕上げます。

めくれの補修

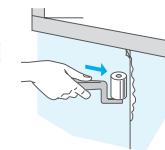
壁紙のめくれには、壁紙補修用接着剤を使います。壁紙補修用接着剤は、ビニール布紙などすべての紙に使える、しかも早く乾くので便利です。これらの接着剤は、白色で乾くと透明になりますが、はみ出したら必ずきれいに拭き取っておきましょう。



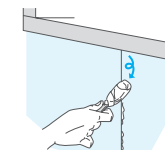
1 はがれた壁紙の裏や壁の汚れを拭き取ります。



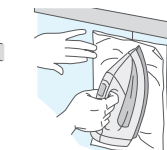
2 壁紙補修用接着剤を歯ブラシ、ハケ、筆などで端までしっかりと塗り塗ります。



3 空気を追い出すように、継ぎ目に向かって貼っていきます。



4 はみ出した接着剤は、かたく絞った布等で拭きとります。



5 めくれぐせが直らない場合は、アイロンを弱にし、紙をあてて、めくれなくなるまでしばらくあてます。